

八松小だより臨時号

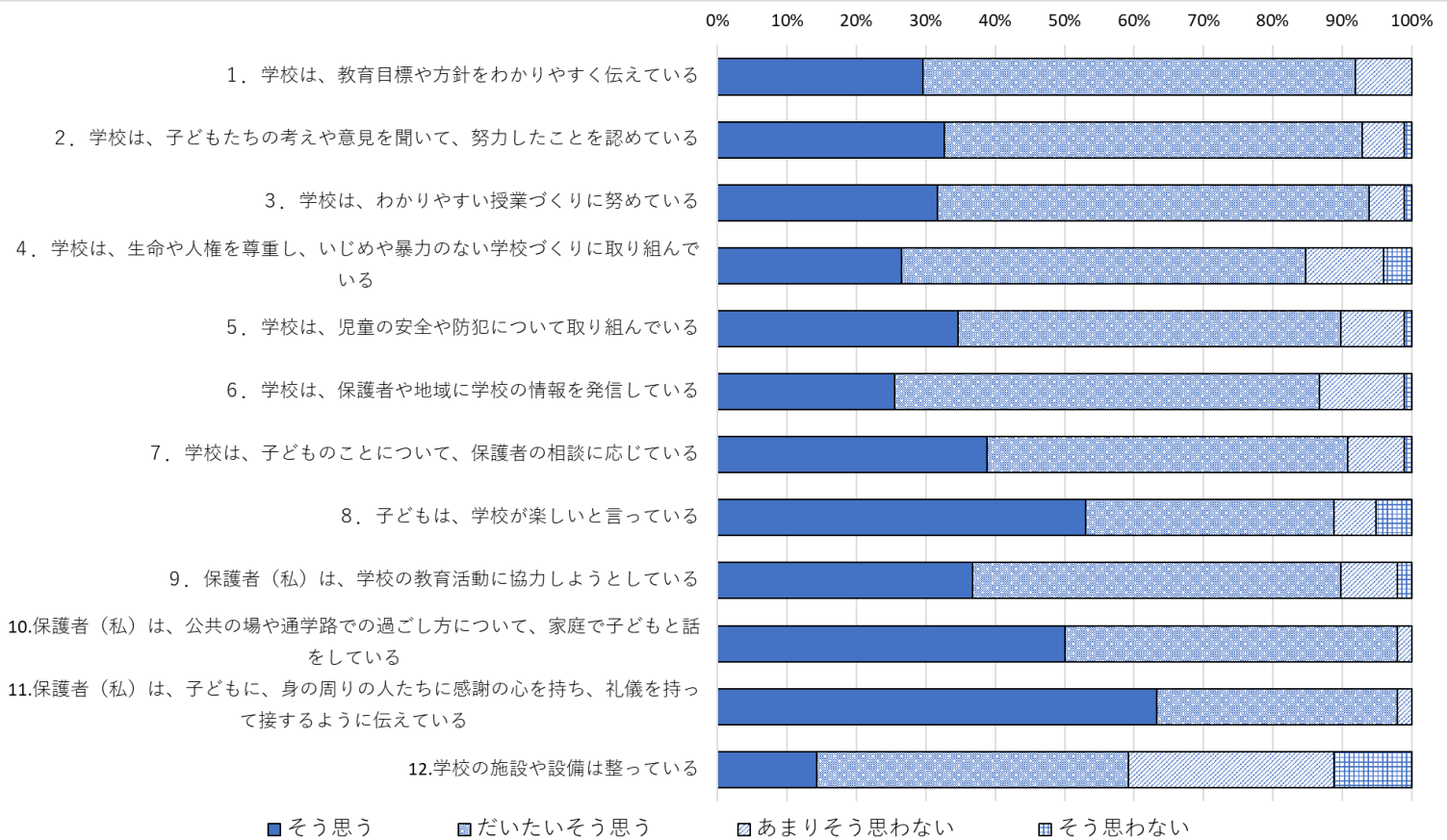


3年(令和5年)度 学校評価結果

〈保護者による学校評価〉

本校の令和5年度の学校評価は、昨年度に続いて3年生、5年生の保護者の方々にお願いし、12項目について、学校ホームページからWEBアンケートに回答していただきました。3、5年生の保護者98名にご協力をいただきました。

〈保護者結果〉



〈考察〉

保護者アンケートは、3年生と5年生を一括してまとめました。どの項目も肯定的な回答が多くなっていました。「学校は、子どもたちの考えや意見を聞いて、努力したことを認めている」「学校は、わかりやすい授業づくりに努めている」という項目において、肯定的な回答が90%以上となっており、今年度も校内研究を通して教職員が授業改善を図った成果が反映されていると考えられます。今後も児童がわかりやすく、意欲的・主体的に取り組めるような授業作りのために継続して研究に取り組んでまいります。

「子どもは、学校が楽しいと言っている」では、「そう思う」「だいたいそう思う」と肯定的に受け止めている割合が90%程度で、保護者の方から見ても児童一人一人が安心して楽しく学校生活を送っている様子がうかがえます。一方で、「学校は、生命や人権を尊重し、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」では、他と比較して「そう思う」の割合が25%程度と低くなっており、「あまりそう思わない」「そう思わない」と評価された方も15%程度いらっしゃいました。数年間、コロナ禍において他者との適切なコミュニケーションの仕方を学ぶ機会が少なくなっていました。児童の気持ちや言葉でのコミュニケーション力を育てている途中ですが、学校の子どもの様子を見ながら考えられることは、まだ友達と上手に関われない児童が少なからずいるのではないかとということです。いじめや暴力、暴言は絶対にしてはいけないことです。いじめや暴力の未然防止や早期発見・早期対応には、日頃から組織として取り組んでいるところです。道徳や日頃の学校生活における様々な活動を通して、友達同士の適切な関わり方を学ぶ場をつくるとともに、学期ごとに行う学校生活アンケート等で児童の様子も見取りながら、全ての子どもが、安心して学校に来られるよう引き続き努めてまいります。

また、「学校の施設や設備は整っている」の項目は他の項目と相対して、昨年同様に評価の低い結果となりました。現在、学校で修繕できる部分から対応しております。今年度はプールのろ過機の故障により、プールの実施回数が少なかった学年がありました。本市の学校施設課に修理を依頼し、来年度に向けて改善できるように準備を進めております。

今年度は、「保護者は、公共の場や通学路での過ごし方について家庭で子どもと話している」「保護者は、子どもに、身の周りの人たちに感謝の心を持ち、礼儀を持って接するように伝えている」という項目を追加しました。この項目においては、保護者・児童共に評価が高くなっております。保護者の皆様には、日頃の子ども達への声かけなどご協力をいただき、大変感謝しております。実際に、始業式等の児童の様子を見ていても、元気に挨拶する姿が見ら

れ、感謝の心や礼儀を持って過ごすことについては態度に表れているように感じます。一方で、通学路でふざけながら登下校したり、道に広がって歩いたりするなどの姿も見られますので、学校でも継続して指導してまいります。ご家庭でもお子さまにご指導をお願いします。

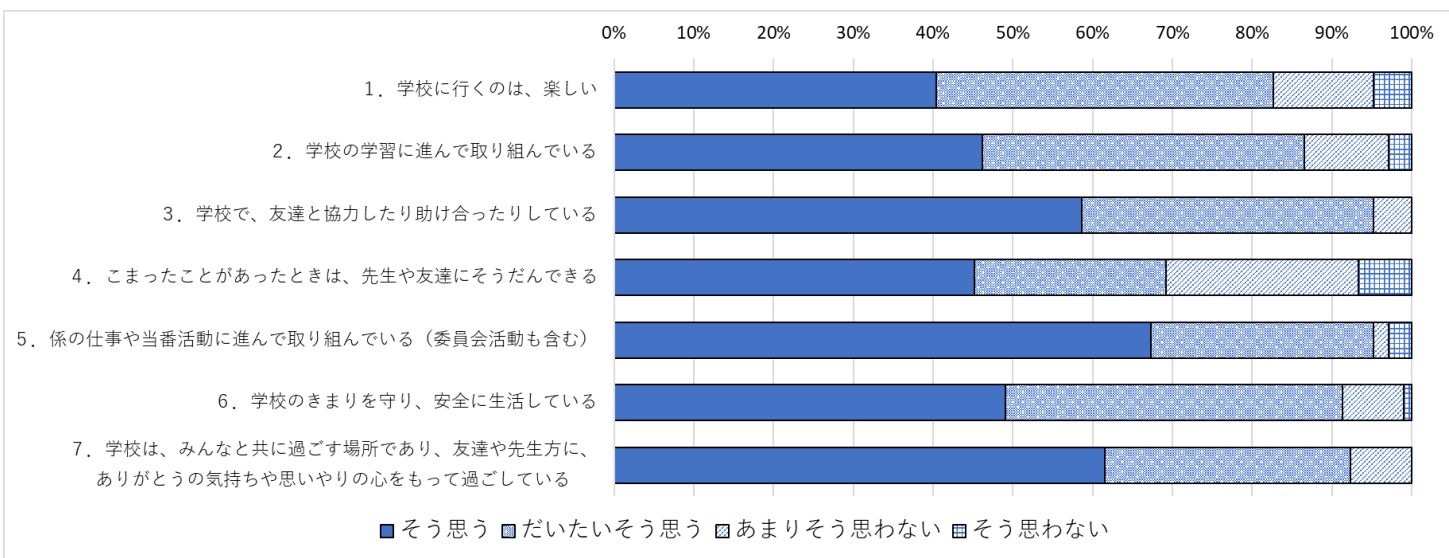
また、登校の見守りをしてくださるボランティアさんに対しても気持ちの良い挨拶ができるように、引き続き学校と家庭で子ども達に伝えていきたいところです。今後も地域の皆様、保護者の皆様と連携して、子ども達が安全に楽しく過ごせるよう努めていきたいと考えております。

今回のアンケートの結果を踏まえ、引き続き、児童がよりよく成長できるよう、職員一同協力して、充実した教育活動に日々努めてまいります。

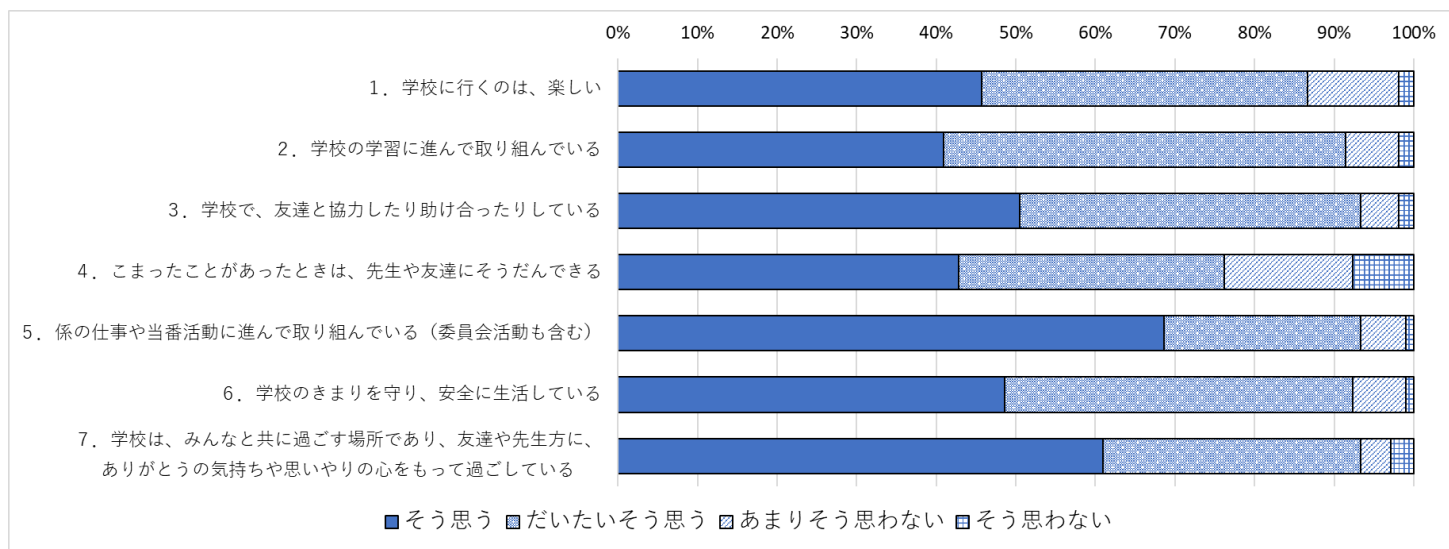
〈児童による学校評価〉

児童による学校評価は、3年生、5年生が学習用端末を活用して、Google ワークスペースでアンケートに回答しました。アンケート項目は、7項目です。

〈3年生児童結果〉



〈5年生児童結果〉



〈考察〉

児童の回答は、3年生と5年生をあわせて、あるいは比較しての考察とします。

「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせれば、似たような傾向を示した項目が多くありました。「学習や係の仕事等に進んで取り組んでいる」や「友達と協力したり助け合ったりしている」では、90%弱～90%以上の児童が肯定的に考えているようです。今回のアンケートでは、「学校は、みんなとともに過ごす場所であり、友達や先生方に、ありがたいの気持ちや思いやりの心を持って過ごしている」が新たに加わりました。この項目も90%以上の児童が肯定的に考えているようです。今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したこともあり、昨年度まであった制約が緩和し、友達との関わりが増えたことで、児童達が意欲的に、また精一杯、友達や家族や学校全体のことを考えて過ごしていることがうかがえます。

以上の結果から、学校教育目標「自ら進んでする子」「共に元気でがんばる子」に向かい、子ども達が育っていると考えられます。友達と協力し助け合える態度、並びに主体的に物事に取り組もうとする子ども達の良さを、今後も大切にしながら育ててまいります。

反面、「学校に行くのは楽しい」「困ったことがあったときは、先生や友達に相談できる」という項目は、「あまり

「そう思わない」「そう思わない」が3年生と5年生で類似した傾向を示していました。困り感や悩み事は、はじめは小さな事でも、時間の経過とともに、深くなったり複雑になったりすることがあります。児童の困りごとの相談は、担任、学年職員、養護教諭、専科の教員、スクールカウンセラーなど児童の身近にいる職員らが、いつでも受けることができることを、児童に繰り返し発信していきます。また、一人ひとりの話を丁寧に聞き、組織的に児童の指導や支援の方策を検討・実行します。子どもたちが、教師や友達との信頼関係をより一層築き、家庭とも連携しながら、楽しく安心して過ごせる環境作りに取り組んでまいります。

最後になりますが、どの評価にも「あまりそう思わない」「そう思わない」の評価があったことを真摯に受け止め、継続して児童が楽しく充実した学校生活を送れるように工夫改善してまいります。

<学校評議員の方々の評価>

今年度は、学校評議員会を3回開催しました。子どもたちの学習の様子を参観していただいたり、学校評議員会では、2023年6月から給食で会食を再開するにあたりご助言をいただいたり、学校づくりアンケートの項目の内容や結果の分析についてご意見をうかがったりしました。また、運動会もご覧いただきました。いつも温かい目で子どもたちの学校生活や地域での生活を見守ってくださり、次のようなご意見をいただいております。

- 授業の様子を見て、落ち着いて学習に取り組んでいると感じます。
- 学校づくりアンケートの結果から、90%近くの保護者が、「子どもは学校が楽しいと言っている」と肯定的に受け止めています。また、90%近くの子どもたちが、「進んで学習に取り組んでいる」「友達と協力したり助け合ったりしている」と回答しています。八松小学校で、先生方と子どもたちが精一杯取り組んでいることが保護者にも伝わっているというふうに読み取れました。
- 放課後、子どもたちは体を動かす場所がありません。公園では、ボールを使えません。家でゲームをして遊ぶ機会が増えていると思いますが、体を動かして友達と一緒に遊ぶことは、子どもにとって大切だと思います。